

## 検討の全体像(振り返り)

---

令和5年10月18日  
消防庁防災情報室

# 検討の背景・具体的な取組

- 高度化検討会では、令和2年度に全国消防本部に向け実施した消防システムに関するアンケート調査の結果に基づき、消防本部の課題・ニーズの解決に向け検討している。

検討のベースとしている消防本部の課題・ニーズ\*

高度化検討における検討事項

## 標準インターフェイス検討

代理通報事業者から位置情報等がデータ接続されるとよい

通報者から現場の画像や映像を取得できるとよい

一定の要件を満たすことを前提に、データ通信による緊急通報をうけられるようにすべき

- ・ 消防機関への緊急通報に係る標準インターフェイスの整備

携帯電話網活用のため、指令システムとのインターフェイスを共通化できるとよい

AVMのコストを削減したい

位置情報を転送したい

- ・ IP無線やAVMに関する標準インターフェイスの整備等

## 消防本部向け資料の作成

調達機会が少なく本部にノウハウが蓄積されない

標準的な機能や定義がなく仕様検討・予算確保が大変

外部接続時に必要なセキュリティ対策についてガイドライン等の基準があるとよい

- ・ 指令システムの基本的な機能、標準的な業務フローの整理
- ・ 指令システム更改の調達仕様書ひな形の作成
- ・ 非機能要件定義に係るガイドラインの作成
- ・ 消防本部のセキュリティ対策に係るガイドラインの作成

## データベースに係る検討

異ベンダー製品や新機能へのデータ移行が円滑かつ低コストで行えるとよい

- ・ データ移行時の中間ファイルの標準化(指令システム・業務システム)

## 標準化・クラウド活用・ネットワーク検討

システム構築の財政負担が大きい

機能や規模の拡張性が高い柔軟なシステム設計にできるとよい

- ・ 業務システムの標準化・クラウド活用のための標準仕様の策定

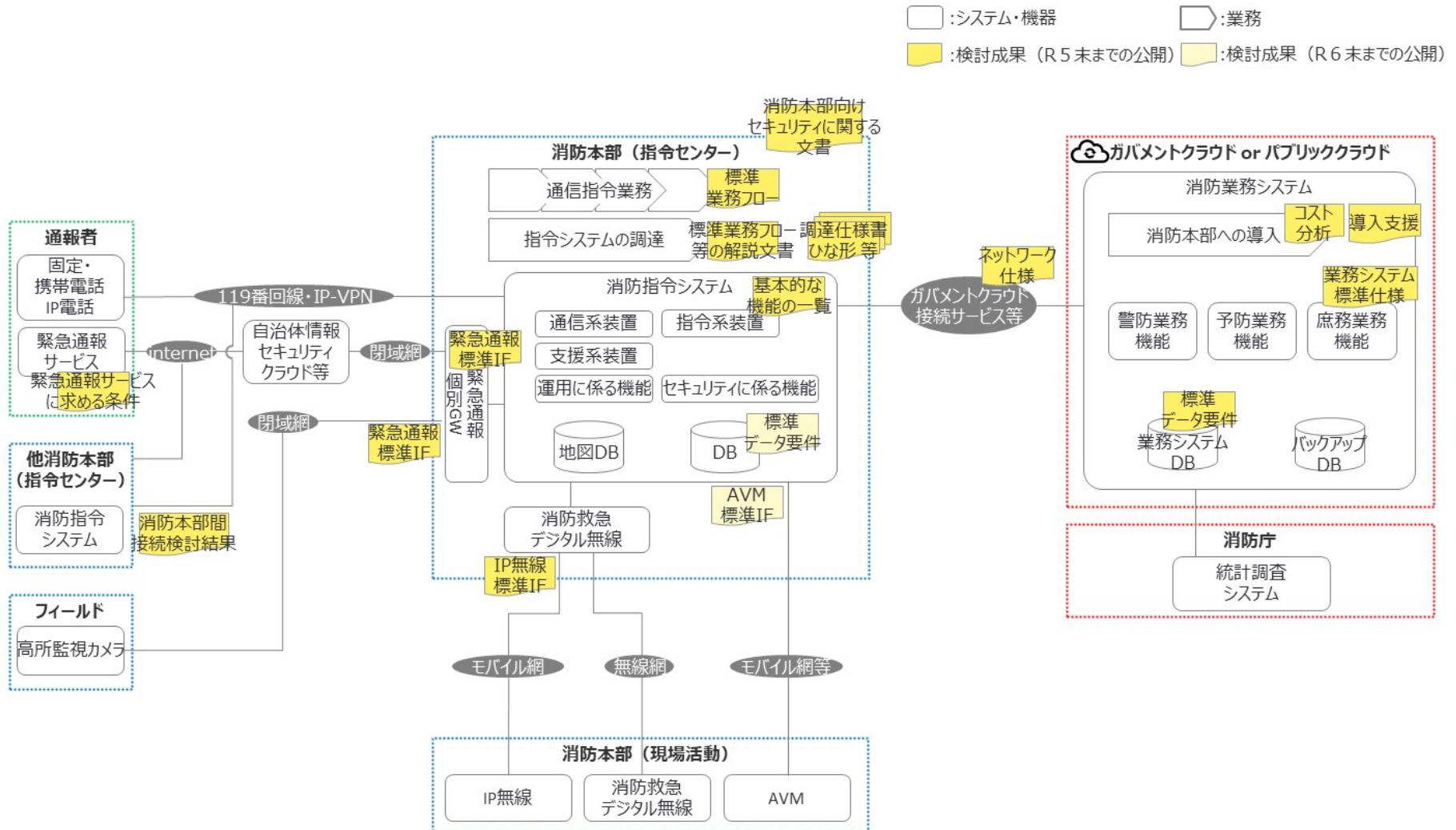
消防全体としてネットワークの在り方について検討が必要

他消防本部や応援部隊、他機関とデータ連携できるとよい

- ・ ネットワークの在り方検討
  - ・ 消防本部-クラウド間
  - ・ 消防本部-消防庁間
  - ・ 消防本部-他消防本部間

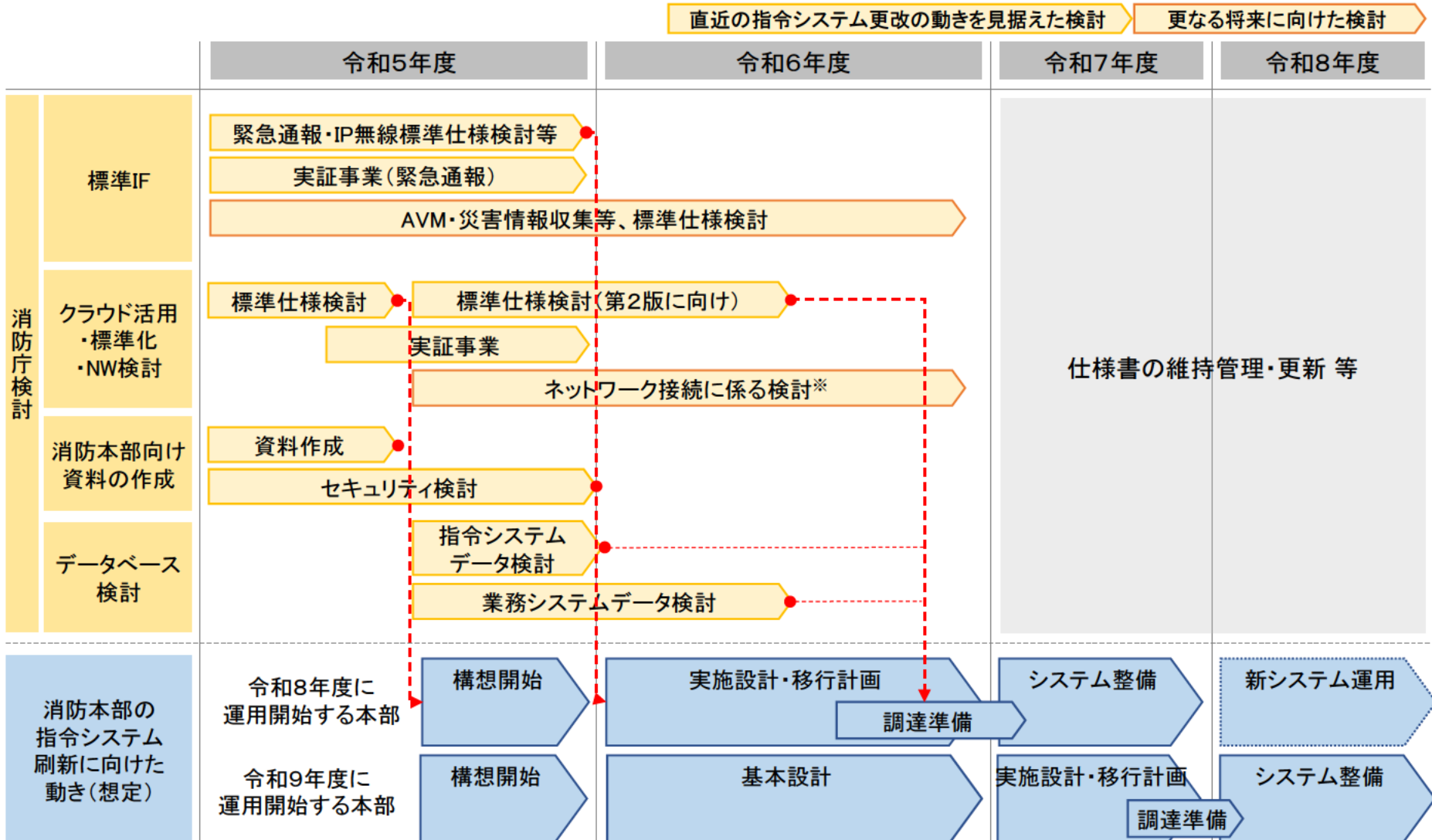
※令和2年度に実施した全国消防本部へのアンケート結果から、現在の検討における目的としている課題・ニーズを抜粋

# 検討の背景・具体的な取組(全体像)



# 検討スケジュール

○ 令和8年度から次期指令システムの運用開始を控える消防本部をスケジュール上の1つのターゲットとし、各検討を進めている。



※消防本部-消防庁間のネットワーク等

# 今後の検討事項(令和5年度から令和6年度)

○ 令和5年度から令和6年度にかけて検討を行う事項について概要を示す。

■ 令和5年度から令和6年度にかけて検討する事項(予定、昨年度から継続して検討している事項は除く)

検討テーマ	実施事項	概要	検討期間
標準IF	消防機関が緊急通報サービスに求める条件の整理	「消防機関への緊急通報に係る標準インターフェイス」を介す緊急通報サービスについて一定の条件を定める検討	令和5年度中
	消防本部間の位置情報転送に係る検討	119番通報の転送時に、通報者の位置情報を通話と合わせて転送可能とする転送の仕組みの検討	令和5年度中
	AVMに係る標準インターフェイス検討	消防指令システムとAVM間の標準インターフェイス検討(AVMのコスト削減を目指した検討)	令和5年度 -令和6年度
	119番入電件数等の収集に関する検討(P.3では「災害情報収集」と表記)	消防本部の119番入電件数等を消防庁が一元的に収集できる仕組みに関する検討	令和5年度 -令和6年度
クラウド活用 ・標準化 ・NW検討	消防業務システムの標準仕様に係る実証事業	消防業務システムの標準仕様及びクラウド活用に関する実証事業	令和5年度中
	消防業務システムの標準仕様書第2版に係る検討	実証事業等の結果等を踏まえた標準仕様書第1版(令和5年度公開資料)からの更新検討	令和5年度 -令和6年10月頃
	ネットワークに係る検討	消防本部とクラウド間を結ぶネットワークの要件検討、消防本部がネットワークを調達する際の要件等の提示	令和5年度 -令和6年度
データベース 検討	消防指令システム・消防業務システムのデータ移行の円滑化に向けた検討	両システム移行時における移行データの標準的なレイアウト・仕様を定義する検討	令和5年度※ -令和6年10月頃
全体	仕様書の維持管理・更新等	公開した標準仕様書等を維持管理するための更新サイクル等について検討	令和5年度 -令和6年度
	高度化検討成果物に関する消防本部向け支援(非検討)	公開文書を全国の消防本部で導入・利活用いただけるよう、公開文書に関する説明や問い合わせ対応等、支援活動を行う	令和6年度 -(未定、継続実施)

■ 検討の結果、現在の高度化検討会の枠組みで実現不可と判断した事項

- 消防業務システムの標準化・クラウド活用で検討していた「クラウド上へ地図機能の集約をする」機能については、関係者確認及び実現手段・形式の検討の結果、消防本部のコスト削減に資する機能とはならないと判断し、消防業務システムの標準機能には含めないこととした。

※消防指令システムに関する検討結果は令和5年度末に公開予定



# 将来に向けた検討事項(1/2)

- 現在は、令和6年度から8年度にかけて消防指令システムの刷新ピークでの検討結果の活用を目指し検討している。
- 次の刷新ピークである10年後や中間刷新を控える5年後に向けては、さらなる高度化やコスト削減を目指した検討が必要であると考えている。(現時点で想定されるものを例示)

## ■ コスト削減・連携強化に向けた検討

### 【高度化検討会での実現事項】

- ・ 消防本部業務を支援するための文書群の作成
- ・ 消防本部のシステム間のインターフェイスの標準化
- ・ 消防業務システムをクラウド上で構築できる環境の整備

消防本部の業務支援や消防本部内の連携強化、コスト削減に資する検討を行ってきたが、**コスト削減の追求や、消防機関の枠組みを超えた連携強化**などさらなる検討は今後も必要

継続検討

### 【将来的な検討事項(例)】

#### さらなるコスト削減に向けた検討

- ・ クラウドの活用や標準化だけでなく、様々な手段を用いて消防指令システム・消防業務システムの導入・運用コストを低減させるための検討の継続

#### 連携強化に向けた検討

- ・ 消防機関の外(医療機関や警察など)との連携を視野にいれ、消防本部の業務を高度化・効率化していくための仕組みの検討

## ■ クラウド環境での消防業務システムの活用拡充検討

### 【高度化検討会での実現事項】

- ・ 消防業務システムの標準化
- ・ 消防業務システムをクラウド上で構築できる環境の整備

現在までオンプレミスのみであった消防システムのうち一部がクラウドを活用できるようになったが、**クラウド環境を利用することによる、コスト以外のメリット(システム連携やデータ利用)の追求**は今後も必要

活用拡充検討

### 【将来的な検討事項(例)】

#### クラウド上の消防業務システムと他システムの連携

- ・ クラウド上の消防業務システムと他の関連システムとの有効・有機的な連携構築によりさらなる業務の効率化や機能の拡充 等  
(例. 消防庁のシステムや、他の防災関連システム、民間サービスなど)

#### クラウド上の消防業務システムに集約されたデータの利活用

- ・ クラウド上に蓄積された消防に関するデータを集約し、災害情報の分析や予測などに活用する 等

# 将来に向けた検討事項(2/2)

## ○ 前頁の続き。

### ■ 活動隊における情報連携検討

#### 【活動隊における情報連携に係る状況】

- ・ 活動隊(救急隊)におけるマイナンバーカードの活用検討
- ・ 活動隊における情報入力・閲覧用タブレットの利用拡大

救急隊におけるマイナンバーカードの活用や、情報連携用タブレットの導入など、活動隊の業務円滑化の検討や取組が行われている。

そのような状況を鑑み、**消防指令・業務システム側でも取得した情報を有効活用できるかの検討が必要**

連携強化

#### 【将来的な検討事項(例)】

##### 取得したマイナンバーカード情報の活用

- ・ 活動隊(救急隊)で取得したマイナンバーカードの情報を消防指令システムや消防業務システム、その他消防のシステムに連携することによるより有効な情報活用の検討

##### 部隊活動用タブレットの連携強化

- ・ 部隊活動用タブレットの機能(システムとしての区分け)を明確化し、部隊活動を円滑化するために他システムとの連携実現等に向けた検討

### ■ 消防のシステムと他システムの連携強化・効率化

#### 【高度化検討会での実現事項】

- ・ 消防指令システムと緊急通報サービスのインターフェースの標準化(データ接続)
- ・ 消防本部間の位置情報転送の実現 等

標準インターフェイス検討などで検討対象としていたシステムは**消防本体内、消防本部間のシステム**であり、**他機関(医療機関や警察等)との連携強化や連携の効率化**については検討の余地がある

連携強化

#### 【将来的な検討事項(例)】

##### 他機関とのデータ連携検討

- ・ 医療機関における受入可能病床情報を各消防本部に有機的(リアルタイム)に連携するための仕組みの検討
- ・ 警察機関との事案情報の連携による、現場対応効率化の仕組みの検討

##### 消防本部間の連携強化

- ・ 消防本部間で事案情報や映像等を共有し、大規模災害や応援が必要な場合の消防本部間の連携を効率化する仕組みやネットワーク等の環境整備に係る検討